

一特集一 若者も主役のまち 東海村

若者も「ひとりの村民」として参画できるまちづくりを目指して

「こどもまんなか社会」と聞いて、皆さんはどうなまちを思い浮かべますか。

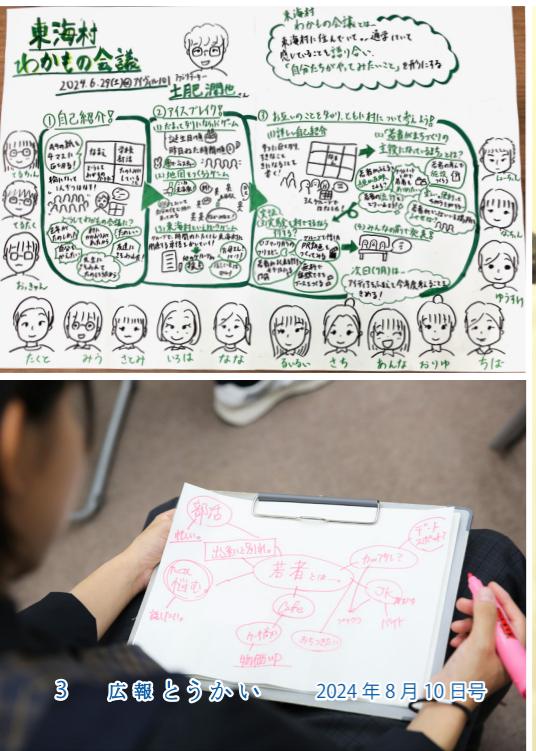
令和5年4月に「こども家庭庁」が創設され、同時に「こども基本法」が施行されました。「こども基本法」は、子どもや若者の皆さんのが、自分らしく成長でき、幸せに暮らせるような社会を実現するため、子どもや若者に関する取り組みの基本となることを定めた法律です。これまで、大人が中心であった国や社会の形に「こどもまんなか」の視点も取り入れていくためには、子どもや若者の声を聴き、まちづくりにいかに反映できるかが重要となります。

村でも、「東海村高校生会」など、青少年の活動を支援する取り組みを長年継続してきましたが、若い世代がまちに興味を持ち、まちづくりに参画する機

会をさらに充実させたいとの想いから、令和6年4月、地域戦略課内に「わかもののまち推進担当」が創設されました。若者の「やってみたい」を応援するためのプログラムや、県立東海高等学校と連携して、高校生が地域に飛び出して魅力を探究する授業などを展開しています。

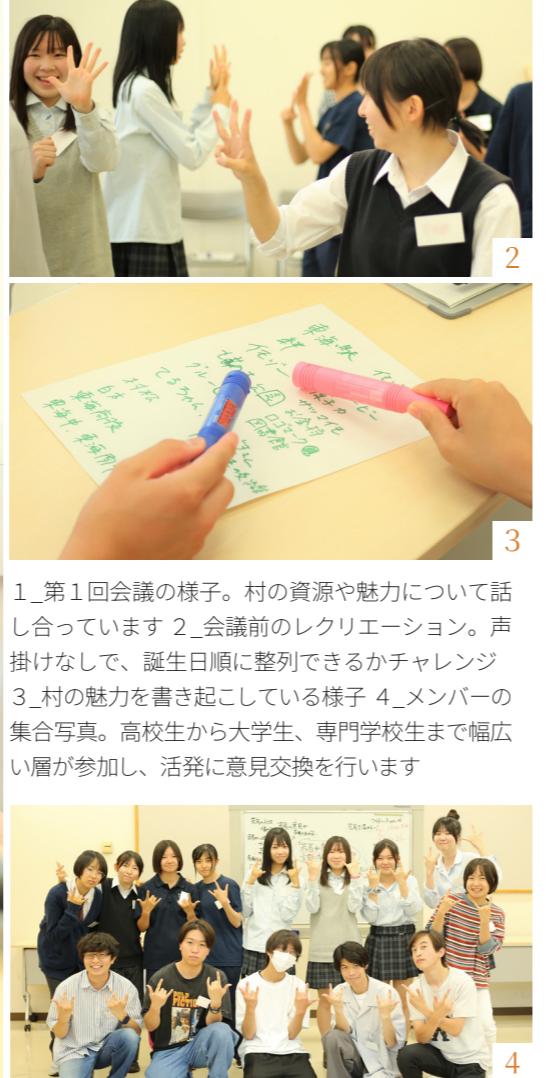
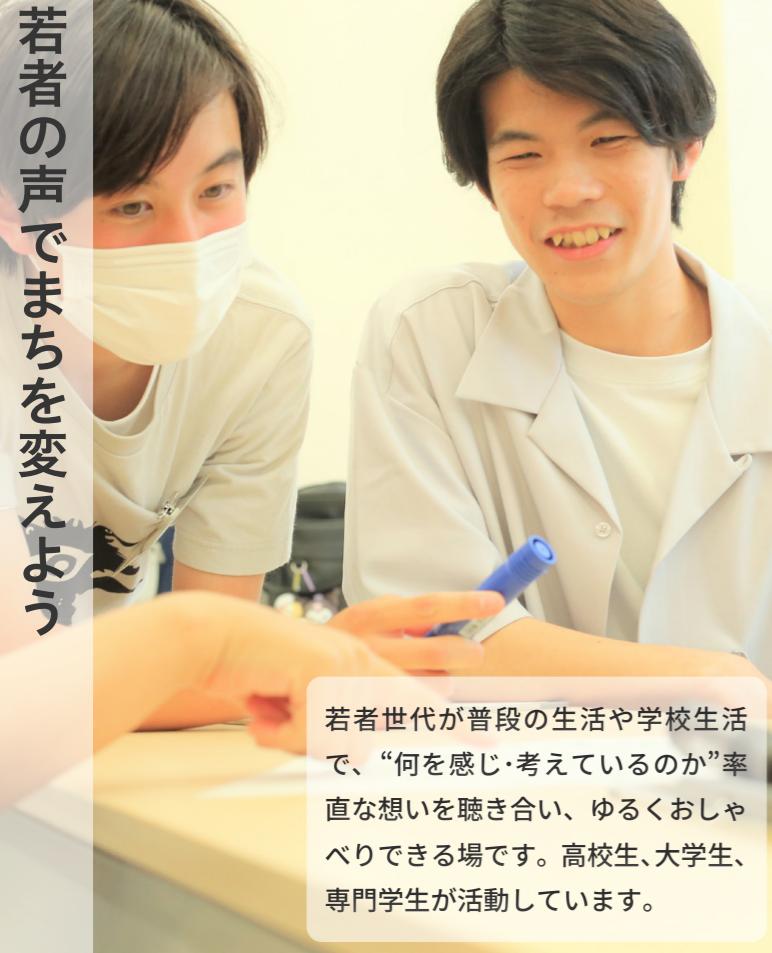
今回は、村が実施する若者のまちづくりに関するプロジェクトを、実際に参画している若者の声と共にお伝えします。

【問い合わせ】地域戦略課わかもののまち推進担当（☎282-1711 内線1339）※6ページについては、生涯学習課青少年担当（歴史と未来の交流館内 ☎287-0851）へお問い合わせください。



ー高校生まちづくりスクールー 自分の「関心」からまちづくりを学ぼう

ー東海村わかもの会議ー



1_第1回会議の様子。村の資源や魅力について話し合っています
2_会議前のレクリエーション。声掛けなしで、誕生日順に整列できるかチャレンジ
3_村の魅力を書き起こしている様子
4_メンバーの集合写真。高校生から大学生、専門学生まで幅広い層が参加し、活発に意見交換を行います



高橋さん
県立東海高等学校

仲間と協力して「わくわく」を実現できる場所

高校1年生の時に、先生からの勧めで参加しました。ボランティアや生徒会活動など、普段から面白そうと思つたことは積極的に参加してきましたが、わかもの会議には、それらとはまた違った楽しさがあります。昨年には、「高校生が放課後に立ち寄れる場所がない」という課題から、仲間と協力してカフェを開設しました。店名は、ゆったり楽しめる場所にしたいという想いを込めて「Cafe Gently」に決定。オーブン当日には、同世代を中心に多くのお客様に喜んでいただきました。私にとって、わかもの会議は心地の良い新たな居場所です。意見を否定せず、どうしたら実現できるかを話し合える空気感が好きです。今年も、メンバーと一緒に新たなわくわくを実現していくのが楽しみです。



1_第1回スクールの様子。「もし、自分が村長だったらどんなマニフェストをつくるか」を発表しています
2_これから共に活動するメンバーへ自己紹介
3_自分の関心からマイプロジェクトを作成
4_高校生まちづくりスクール第1期生で集合写真



全5回の活動の中で、自分の興味・関心とまちの課題や資源を掛け合わせて「マイプロジェクト」を企画・立案し、実行するプログラムです。まちづくりについて実践しながら学び、アイデアを形にしていくための入門講座です。



奥村さん
県立東海高等学校

やりたいことを実現できる 将来だけでなく、今自分の

高校生まちづくりスクール(以下、まちスク)へは、「自分のやりたいことを実現できる」というキヤッココピーにひかれて参加しました。活動する中で、自分の発想を具現化できる可能性を感じ、わくわくしています。まちスクでは、私が考えたニュースポーツで村を元気にするプロジェクトに取り組んでいます。村の新しいロゴマークが発表された時、山田村長の「ロゴマークで遊んでほしい」という言葉から、この形をしたフライングディスクで子どもから大人まで、皆が楽しめないかと思いました。一人ではアイデアを実現することは難しいと思っていたが、まちスクでは、周りの大人が実現のために本気で話を聞いてくれ、また、一緒に動いてくれます。これからアイデアを形にしていくことが楽しみです。

推しポイント



▲令和6年度の取組みはこちら
▲Instagram
10月20日(日)、村長への企画提案発表会を予定しています(写真は令和5年度の発表会の様子)。



経験豊富なファシリテーターが伴走支援します。
「NPO法人わかものまち」土肥潤也さん(左)山本晃史さん(右)



会議は堅苦しいイメージですが、わかもの会議・まちスクではゆったりとした雰囲気の中で話し合います。



“やってみたい”を理想のままで終わりにせず、実現に向けて具体的なアクションプランを考え実践していきます。